

第 40 号

2023 年 7 月 10 日
(令和 5 年 7 月 10 日)

ソムリエの風

特定非営利活動法人
奈良まほろばソムリエの会会報紙

発行 特定非営利活動法人
奈良まほろばソムリエの会
広報グループ
〒630-8217
奈良市橋本町 3-1
きらっ都・奈良 (BONCHI)

総会、入会説明会・祝賀会を開催、増補改訂版発売中！

今年 6 月 11 日 (日) に第 11 回通常総会、5 月 21 日 (日) にはソムリエ合格者向けに入会説明会と合格者祝賀会を開催しました。5 月 10 日 (水) には、『奈良「地理・地名・地図」の謎』増補改訂版の発売が開始されました。(専務理事 鉄田憲男)

東大寺ミュージアム小ホールで開催



新理事の柏尾さんと森屋さん

総会は、今回から E メールによる招集と、Web 上での出欠および欠席の場合の議決委任という新しい方式で取り組みました。結果、総会員数 445 人のうち、323 人が出席されました (うち議決委任者 221 人)。新理事には、柏尾信尚さんと森屋美穂子さんが選任されました。

総会のあとの講演会では、なら橘プロジェクト推進協議会会長の城健治氏をお迎えし、「よみがえれ大和橘～絶滅の危機からの再生～」というお話を拝聴しました。



城健治さんによる講演会 (6/11)

入会説明会には 55 人が出席



入会説明会の模様 (5/21)

5 月 21 日 (日) にホテルリガール春日野で開催した入会説明会には、今回のソムリエ合格者 83 人のうち 55 人、祝賀会には 30 人が出席されました。合格者による 1 分間スピーチなどで、会場は大いに盛り上がりしました。



合格者祝賀会の模様 (同日)

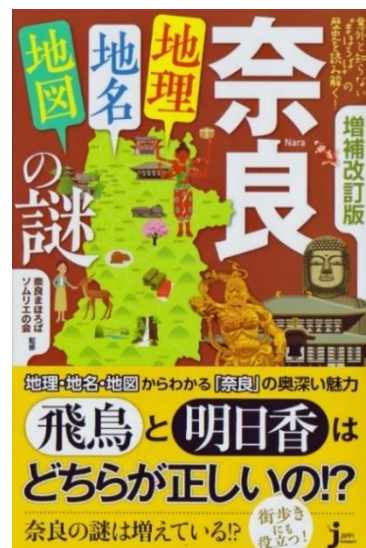
増補改訂版が発売、増刷も

5 月 10 日 (水)、『増補改訂版 奈良「地理・地名・地図」の謎』が発売され、約 20 日で増刷されました。読売新聞奈良版のランキングでは堂々の 1 位を獲得しました! (5/27 ~6/2 啓林堂書店調べ)。



県観光局長に発売を報告 (6/5)

旧版は当会初の著作 (監修書) で、2014 年 3 月に発売されました。在庫が尽きたため、改訂版を新たに刊行することとなり、内容を見直しました。結局、78 本の謎のうち 12 本を丸ごと新ネタに差し替え、残る 66 本も内容を大幅にアップデートしました。



本書 (実業之日本社刊) カバー

当会へのご寄付のお願い

当会では常時、臨時の事業や備品の買い換えなどに充当するため、会員の皆さんからの寄付金を募っています。

決して、多額でなくて構いません (過去の最頻値は、お 1 人様 1 万円でした)。できるだけたくさんの方のご協力をお願いいたします。

詳しくは当会 HP「会について」の「寄付申込」をご覧ください。

NPO法人「奈良まほろばソムリエの会」が、地元の歴史などを扱った書籍『奈良『地理・地名・地図』の謎 意外と知らないまほろば。の歴史を読み解く!』(実業之日本社)の増補改訂版を出版した。2014年の旧版に掲載したトピックス78本のうち12本を新たなテーマに差し替え、残る66本も情報を更新した。【村瀬達男】

同会は、奈良商工会議所が主催する奈良まほろばソムリエ検定で、最難関のソムリエに合格した人たちが11年に結成した。会員は約400人。増補改訂版はベテラン会員5人が29年12月から約4カ月かけて監修・校閲作業にあたった。書籍は「奈良の古刹のミステリー地図」や「大和に伝わる信仰・伝説の謎」など五つの章で構成されている。

「奈良の謎」もっと深掘り

12テーマ差し替え改訂版 ソムリエの会



増補改訂版は、明治政府による神仏分離令の影響をまとめた「興福寺は、明治の初め廃寺となり、誰もいなくなった」などを追加。出土物や集落跡が見つかった場所などに着目して今後の発掘結果に期待する。新書判208頁、1100円。県内の主な書店で購入できる。

「初期ヤマト政権発祥の地、網向遺跡は邪馬台国であったか?」も取り上げた。観光するだけでは分からない奈良の魅力が詰まっており、知的好奇心をくすぐる一冊に仕上がっている。

魅力再発見

県民も読んで!!

5人にプレゼント

「奈良『地理・地名・地図』の謎 意外と知らないまほろば。の歴史を読み解く!」増補改訂版を読者5人にプレゼントします。

はがきに郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記。〒630-8114 奈良市芝辻町4の5の7、毎日新聞奈良支局「ソムリエの本係」へ。6月7日必着。当選は発送をもって代えます。

毎日新聞奈良版 (5/31)

史跡探訪Cが活動を再開!

コロナ禍などで活動を休止していた史跡探訪サークル(啓発交流グループ)が体制を整え、活動を再開しました。

3/25(土)には「宇陀松山 春の散策と大願寺の薬草料理」を実施し、19人が参加。

今後は2ヵ月に1度程度の会合を持ち、秋からのツアーを準備してまいります。



又兵衛桜の前で (3/25)

新メンバーを加え更に快調!

当会会員は毎週木曜日、交代で奈良テレビ放送「ゆうドキッ!」(17時半~18時半)に出演しています。



スタジオ見学のあと記念撮影 (3/9)

4月からはコーナー名も「奈良ノススメ」に更新され、6月から新メンバーが加わっています(松原さんのほか梅田加都さん、八尾鈴子さん、本田倫子さん=下の写真・鉄田の右から)。奈良テレビエリア内の方は、ぜひご視聴ください。



初出演の松原純さん (6/8 放送)

奈良シニア大学、新年度がスタート

当会は奈良シニア大学で、奈良校・奈良歴史部、奈良校・史跡探訪部、橿原校・史跡探訪部の3つの講座を受け持っています。講師陣にも新しい顔ぶれが加わり、ますますパワーアップ。



奈良古代史のあらまし (5/18)

また部活「グルメサークル」にも毎回20~30人が参加され、「奈良のうまいもの」を堪能されています。

歴史文化連続講座「奈良へ」に鉄田専務理事が登壇！



なごやかに対談する二人

令和5年3月25日（土）奈良市中部公民館5階で、(公財)奈良市生涯学習財団と東アジア仏教文化研究所が共催する講演会がありました（全3部・125人参加）。メイン講師は帝塚山大学客員教授で同所代表の西山厚氏で、当会鉄田憲男専務理事は第1部で「奈良まほろばソムリエの日々」をテーマに講演。

当会は奈良県で一番会員数の多

いNPO法人で、「地域再生大賞」優秀賞の受賞、書籍の出版、毎日新聞への記事連載、奈良テレビ放送「ゆうドキッ！」生出演、機関紙「ソムリエの風」などの活動を紹介されました。

他にも「JR万葉まほろばウォーク」の開催など、企画・運営の思い出話がありました。

そして、NPO法人として当会が目指しているのは①特定少数でなく不特定多数を相手にする②自分がやりたいことでなく、求められていることをやる③インプットよりアウトプット重視の三点を挙げました。

また奈良県唯一の「奈良のうまいもの大使」に認定されている鉄田さ

んは、「奈良の食」に今後とも注力していくと言われ、皆さんは聞き入っていました。

西山先生は、第3部の対談で鉄田さんのブログが毎日更新され1日6000件の閲覧になっているのは全国的にもあまりないと感心されていました。

当会の文化財の調査活動についても触れ「熱心なメンバーがいる。こんな会はなかなかない。この会はずっと注目されていていい」と称賛されました。鉄田さんは「一人ではできなくても団体でならできる。ぜひ当会の活動に関心を持ってほしい」と締めくくられました。

（広報G 増田優子）

シリーズ「奈良スケッチ紀行」～水彩画で巡る名所・旧跡～

第8弾 奈良交通で世界遺産を回遊

今回ご紹介するのは法起寺前を走る奈良交通バスを描いた作品です。

観光に来られた方々に、公共交通機関で効率よく世界遺産を巡るコースを聞かれるといつも少し困ってしまいます。JRと近鉄がうまくつながっていないと言うのは、県内交通網の問題点としてよく耳にしますが、実は我々には奈良交通という強い味方が存在しています。

しかしながら、県民は我が家も含めて複数台の車を所有しているご家庭も多く、プライベート移動のほとんどは自家用車で、バス路線についてはあまり詳しくないというのが実情ではないでしょうか。

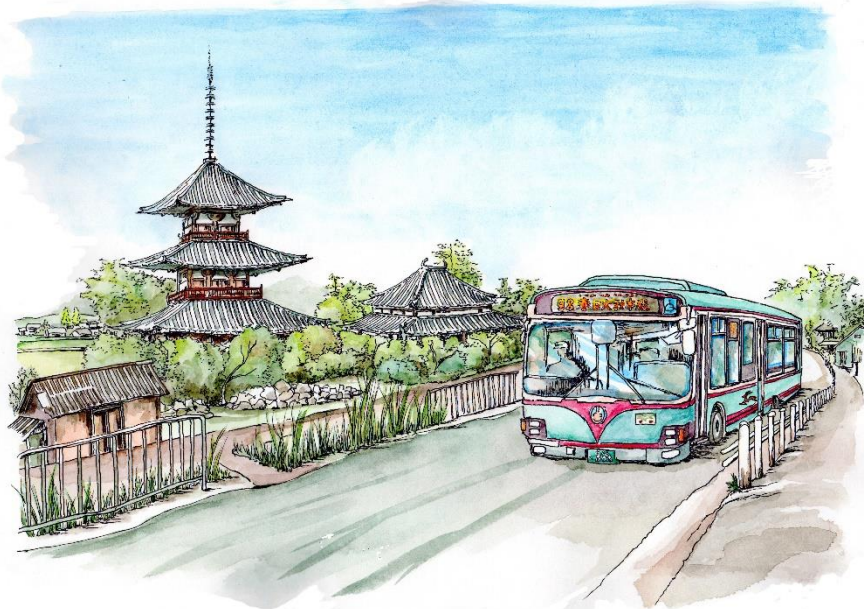
この旧塗装の車両が走る路線は「奈良・西の京・斑鳩回遊ライン」と言いまして、春日大社から東大寺・興福寺・唐招提寺・薬師寺・法起寺を経て法隆寺へと向かう路線です（絵は法隆寺からの逆向きですが・・・）。

個人的には「世界遺産周遊ライン」と称して、車窓からの風景をYouTubeにアップしております。なかなか趣のあるコースですので、普段車専門の方も一度乗ってみてはいかがでしょうか。

（広報G 佳山隆生）

[YouTube：「奈良とびっきり観光ガイド」](#)

[オフィシャルサイト：「MUMEIART.COM」](http://MUMEIART.COM)



近代歌人の歌で巡る 明日香

本日は、前号に引き続き、明日香をこよなく愛した近代歌人たちの歌をご紹介します。今回は、川原寺跡から岡寺に、そして飛鳥川沿いに奥飛鳥に足を延ばし、近代歌人たちの吟行の足跡を辿ってみたいと思います。

【川原寺跡(弘福寺)】

「よをそしるまづしきそうのまもりこしこのくさむらのしろきいしずゑ」 会津八一

大官大寺・飛鳥寺とともに飛鳥三大寺の一つである川原寺は、天智天皇が母の斉明天皇を弔うために建てたとする見方が有力ですが、日本で最初に写経が行われた寺とされる以外に記録が少なく、謎多き寺とされます。中世に衰微し廃寺となり、現在はその中金堂跡地に建つ弘福寺が法灯を継承しています。八一が訪れた頃は荒廃が著しく、かつての大寺の名残を留める白大理石の礎石に、八一は深い感慨を寄せています。

【岡寺】

「古き堂柱のひまのほどなきに大き仏の膝組みおはす」 尾上柴舟

明治9年生まれで、書家としても有名で日展審査員を長くつとめた柴舟は、岡寺本堂の柱の間のほど近くに座す日本最大の塑像、如意輪観音坐像と対峙しています。行基・良弁の師である義淵僧正が草壁皇子の岡宮をもらい受け創建したとされる岡寺は、西国三十三ヶ所観音霊場の第七番札所で、厄除霊場として篤い信仰を集めています。シャクナゲやダリアなど花の寺として、また秋の紅葉の名所としても有名です。



【南淵山】

「たもちたる暇(いとま)を清み夏ふけし南淵山にあひ対ひける」 斎藤茂吉

昭和5年8月に、茂吉は歌人仲間と岡寺山門前にあった薬屋旅館に宿泊し、しばしの休みを明日香に遊びました。旅館からほど近い石舞台のある島庄に入ると視界が一気に広がり、茂吉は南に横たわる眼前の南淵山と清々しい思いで対峙しています。

万葉集には、はだれ雪が残る南淵山を歌った次の有名な歌が残されています。

「御食向ふ南淵山の巖(いわほ)には降りしはだれか消え残りたる」 柿本人麻呂

【稲渚】

「うねうねと畔作り田をなす工(たくみ)見れば朝鮮慶州あたりゆきし思ほゆ」 土屋文明



島庄から玉藻橋を渡り、祝戸にあるミハ山の山裾の緩やかな上り坂を登りきると稲渚の棚田が見えてきます。日本棚田百選にも選ばれる美しい「稲渚の棚田」を前にし、文明は以前に旅行した朝鮮の慶州に似ていると感じました。阪田から稲渚などの奥飛鳥にかけては渡来人が早く住みついたところであり、中大兄皇子や鎌足の師であった南淵請安や飛鳥大仏の作者止利仏師も、ここに暮らす渡来人の一族でした。渡来人が開拓し住みついた稲渚の棚田風景が慶州に似ているのは当然かもしれません。

「飛鳥川をはさみて棚田相对ひ畔の曼殊沙華の花相向ふ」 小谷 稔

土屋文明の弟子である小谷は、秋の稲渚の棚田風景を詠んでいます。曼殊沙華は彼岸花のことで、9月後半畔に真っ赤に咲き誇る彼岸花の帯は、棚田に彩りを添えます。

「流れに置きし石橋にあやふく吾は立つ古き相聞の世をおもひつつ」 三宅奈緒子

三宅は大正10年生まれ、女性として初の「アララギ」の選者となった現代歌人です。稲渚の棚田から下った飛鳥川には有名な男綱が渡されていますが、そこを少し上流に行くと石橋と呼ばれる飛び石があり、観光スポットになっています。三宅は、その石の一つに立って、次の万葉歌の詠み人がこの石橋を渡って恋人の所に通う姿を思い浮かべています。



「明日香川明日も渡らむ石橋の遠き心は思ほえぬかも」 作者未詳

【阪田】

「おそろおそろ読みし日本書紀に渡来人多須奈と止利の親子と知りき」 倉林三千子

倉林は、新アララギの選者として活躍された女流歌人です。稲渚の石橋から飛鳥川の右岸(東側)を歩いて島庄に戻る途中の阪田には、止利仏師の父多須奈が用明天皇の病氣平癒のために造ったと伝わる坂田寺の跡があります。渡来人の司馬達等がこの地に住みつき、その子多須奈と善信尼の兄妹、孫の止利と、三代にわたり黎明期の我が国仏教の発展を支えた遠き昔に思いを馳せ、島庄の石舞台バス停に向かいます。

(最後に)

「明日香路をか行きかく行き心親し古人(いにしえびと)をあひ見る如し」 島木赤彦

二回にわたり近代歌人たちの歌で明日香を巡りましたが、最後にもう一人、アララギ派の重鎮島木赤彦の歌をご紹介します。赤彦が感じたように、明日香を巡り歩くと、悠久の時の流れに身を置き万葉人とも出会えるような不思議な感覚を覚えます。明日香は、古の歴史と万葉歌、そしてのどかな自然が織りなす唯一無二の世界だと思います。皆さまも、明日香で古人との出会いの旅をしてみませんか。

ガイド G、広報 G 藤田道夫

世界遺産と飛鳥（登録基準 ii）

世界遺産に登録するためには「世界遺産条約履行のための作業指針」で示される 10 個の登録基準（文化遺産は i～vi の 6 個。自然遺産は vii～x の 4 個）のどれか 1 つ以上を合致させる必要があります。「飛鳥・藤原」の推薦活動においては ii と iii がおもに登録基準として検討されています。今回は登録基準 ii についてお話したいと思います。

（1）飛鳥藤原に於ける価値観の交流

登録基準 ii とは「建築や技術、記念碑、都市計画、景観設計の発展において、ある期間または世界の文化圏内での重要な価値観の交流を示すもの。」です。

「飛鳥・藤原」においては、東アジア文化圏内の価値観の交流がそれを示します。

この時代、隋が中国を統一して周辺諸国を圧迫し、朝鮮半島では高句麗、百濟、新羅が覇権を競うなど国際情勢が急速に緊張感を増しました。宮を転々とする旧来の倭（ヤマト）の風習や政治体制では成立しないことは明白な状況でした。そこで大陸の新しい文化や技術の導入と共に強い中央集権体制を反映した都城造りが必要となりました。

（2）都城

都城に関する遺跡としては「飛鳥宮跡」「藤原宮跡・藤原京朱雀大路跡」などが挙げられます。都城では「改新の詔」「飛鳥浄御原令」「大宝律令」



飛鳥宮遺跡
古都飛鳥保存財団 HP より転載

などの立法がなされ八省などの行政、司法の堂が設けられました。「立法」「行政」「司法」の機関、つまり現在の永田町と霞が関をまとめたような宮殿配置が構築されていきます。飛鳥宮跡では 1 期が飛鳥岡本宮、2 期が飛鳥板蓋宮、3 期が後飛鳥岡本宮、飛鳥浄御原宮と続きました。後の大極殿かと言われるエビノコ郭には大型建造物の掘立柱跡が検出されています。ちなみにエビノコとはこの場所の小字名つまり地名のことです。時代は飛鳥宮から藤原宮に遷ります。大掛かりな瓦葺の大極殿院・朝堂院・朝集殿院など宮殿配置の構造が整えられました。



藤原宮跡

（3）仏教寺院

技術や文化の導入手段の一つとして中国や朝鮮から仏教が伝来し、その半世紀後には、蘇我氏や聖徳太子を中心として、中国や朝鮮と比肩する仏教施設の建築を始めました。



本薬師寺跡

「飛鳥寺跡」「橘寺跡」「川原寺跡」「大官大寺跡」「本薬師寺跡」「山田寺跡」「檜隈寺跡」が飛鳥～藤原時代

の大型仏教建築遺跡です。広大な地域だけでなく伽藍配置や建築資材・建築技術の変遷など、地下遺構がその技術の高さや存在を示しています。急速な仏教文化の発展や建築技術の進歩を示す証拠が「飛鳥・藤原」に多く眠っています。

（4）墳墓

前方後円墳を基本としたヤマト王権の古墳時代は過ぎ去り、「石舞台古墳」や「菖蒲池古墳」などの方墳、「牽牛子塚古墳」や「中尾山古墳」や「天武・持統天皇陵」など独自の八角墳が出現し、大陸に見られる石室壁画が「高松塚古墳」や「キトラ古墳」で発見されました。葬送においても古来独自の儀礼を尊重しながら国際的な見識と視野を深めていった過程を「飛鳥・藤原」に見ることができます。



牽牛子塚古墳
古都飛鳥保存財団 HP より転載

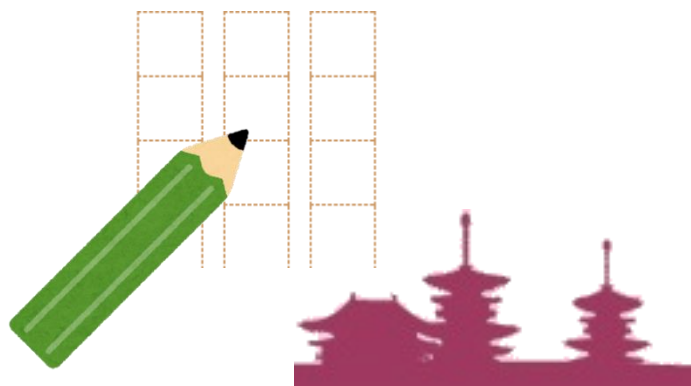
（5）まとめ

国際情勢の緊迫化に備えて短い年月で急速に大陸の技術や文化を取り入れ、従来の文化との融合を謀り中央集権の国家体制を築いたのが飛鳥・藤原時代の特徴です。そして国際社会の中に「日本」という国家の原点を築いた証拠が「飛鳥・藤原」に豊富に残されているのです。

6 世紀～7 世紀の東アジア情勢と国際交流の視点で「飛鳥・藤原」をご散策下さい。

広報 G 福岡康浩

新入会員のみなさん 80 字で自己紹介！



喜多 志乃（きたしの）

現在権利擁護の NPO 法人で活動しています。奈良へ出かける時と奈良の本を読んでいる時が一番幸せ。憧れのソムリエの会で更に深い奈良を感じられる事を楽しみにしています。



藤田 正道

生駒市在住。古道など里山の風景を楽しみながら歩くのが大好き。寺社や史跡などについて詳しく知ればもっと楽しめると思い受験。この楽しみを多くの人に伝えられたらと思う。



今西 彩子

この度まほろばソムリエの会に入会。奈良に産まれ育ち、奈良の有名な行事は周知しておりましたが、もっと奥深い奈良を知りその魅力を学び、更に広げていきたいと思っています。



渡辺 明彦

奈良市在住の勤務医。夫婦仲良く名所旧跡巡り：コロナ禍の過ごし方として最高！合格祝賀会で隣の小倉先生にご縁を賜り保存継承Gと奈良のうまいもの調査の啓発Gに入会希望。



仲村 砂都子

「唐招提寺に行きたい」と12歳の孫娘。「ばあちゃんのガイドは面白い」と言われて有頂天外！距離が一気に縮まった。四方山話いっぱい「ふるさと奈良」を発信したい。



怒留湯(ヌルユ) 誠

法隆寺をガイドしていただき、感動したのをきっかけに奈良の魅力に気がつきました。今後は、誰かが奈良を好きになるきっかけになるような活動ができればと思っています。



渡部 真理子

実家は田原本の渡部(わたなべ)と申します。小学生の子供がおり、奈良の魅力をよく語っています。聖徳太子、行基をはじめ奈良ゆかりの偉人のこと等を学び発信したいです。



河添 正雄

山口出身。3年前に住み慣れた滋賀から奈良に引越。終の棲家の奈良を勉強したく、奈良検定に挑戦。歴史には全く興味がなかったが激変。入会後は文化財について勉強したい。



田中 正博

現在は日本百名城の踏破を目指しています。知れば知るほど奈良歴史の重みを感じています。健康のためにも奈良の各地を巡り、知識の深掘りをしてゆきたいと考えています。



安井 昭弘

奈良シニア大学にソムリエの先輩がいて勧められた。会の試験対策講座のおかげで合格できた。心から感謝しており、これからは自分の足で奈良の魅力を感じていきたい。



池田 崇

干支は寅年、実家は元々三郷町で信貴山の麓に住んでました。ゆったり寺社巡りや山登り好きです。奈良の観光資源の案内ができればと思っています。よろしくお願いします。



辻 益栄

愛知県在住の辻益栄です。ある人の影響で度々奈良を訪れるようになり奈良の魅力、奥深さにはまりました。特に洞川が好きです。もっと奈良のことを知りたいと思います。



中西 剛次

桜井市観光ボランティアガイドの会員。趣味は資料の整理。ソムリエ挑戦への動機は自分のスキルアップと、引き出しを多くすること。未知の仏像との遭遇に期待すること大。



古川 隆一

飛鳥里山クラブ、橿原市観光協会、万葉文化館など地域のボランティア活動をしています。史跡探訪サークルやガイドサークルに入会して奈良を再発見したいと思っています。



成尾 昇一

余暇の読書も奈良検定を機に奈良題材のものを積極的に選ぶようになりました。小説の中の地名や街道を確認したり登場人物に関する事柄を深掘りするのも楽しみとなりました。



梶本 恵三

正倉院宝物を陶芸で作って楽しんでいます。西域のシルクロードの美術品も大好物です。ソムリエの会を通してもっと奈良を楽しみたいと思っています。宜しくお願い致します。



井本 正美

退職の挨拶状に「これからは奈良学に勤しむ」と宣言。挑戦する事5年目にしてやっとソムリエ級に。ゆったりと時が流れる「まほろばの国」ファンを増やす様勉強して参ります。



新森 幸枝

岡山県生まれ、高校卒業後京都と奈良の選択肢の中でやっぱり奈良が好きと奈良へ。現在、橿原市、明日香村で観光ボランティアガイドとしてお客様と楽しく観光地を巡っています。



藤川 幹代

海が見える九州から海のない奈良に移り住んで奈良が日本の礎である事を知りました。まだまだ、奈良の素晴らしさを知りたいと思っています。橿原・飛鳥のガイドをしています。



鯨江 賢治

奈良市在住会社員、60歳。山・街 問わず歩くことが好きです。会社勤めが終わったら歩き中心のガイド出来れば良いと思います。寺社無料拝観というのが受験動機でした（笑）



泉原 常德

愛媛県から奈良に移住して40年近くになり、奈良の魅力を一人でも多くの方に紹介したい。自分の趣味である有害駆除を活かし神社仏閣を少しでも守りたいと思っています。



川端 真知子

奈良県在住。お寺巡りと仏像鑑賞が好き。ソムリエ検定で1400年の歴史遺産がある奈良の魅力を再認識！先ずは8つ作った400字コースを自分の足で訪れたい。



松本 孝裕

斑鳩町在住。ソムリエ試験は何度も落ちたがやっと合格。法隆寺を中心とした地元・いかるがの里、西ノ京辺りを重点的に活動していきたいと考えています。



杉本 登

私は古代史と万葉集が好きで、若い頃から犬養孝先生の「万葉の旅」を片手に奈良の各地を歩いてきました。ソムリエの会でも万葉の故地をガイドしたいと思っています。



山口 恵一

1961年生まれの62歳。奈良市に居住し38年。仏像に感銘を受け、奈良の歴史に興味を抱き、ソムリエ試験を受験しました。これから宜しくお願いいたします。



鈴木 康信

特に奈良の歴史に興味があったわけではなく、仕事の転勤で奈良に来て20年経ちました。通勤電車で、本を読みながら歴史が好きになりました。保存継承Gに期待しています。



山本 理恵子

地元の万葉講座で壬申の乱に興味を持ち、仲間と大海人皇子の足跡をたどりました。それが奈良愛となり今に至ります。会の方々と万葉の故地を巡り知識を深めたいと思います。



小久保 真由美

ある方がきっかけで奈良を知り、何度も訪れているうちに魅力にはまりました。ソムリエの会で、奈良の良さを伝える活動ができればと思います。史跡巡り、仏像が好きです。





仲 秀和

奈良市在住。昔から寺社巡りや仏像を見るのが好きです。村落で大切にされている仏様や片隅に眠っておられる古い仏像を見つけ保存する活動がしたいと思っています。



橋口 健

西ノ京に住み半世紀、やっと奈良を知りたくなり、奈良検定に挑戦。学ばば学ぶ程、奈良の奥深さが解って楽しい。ソムリエの会で学びを深め乍ら、楽しみを拡げてゆきたい。

喜多村 順子

梅田から 10 分の所で生まれ育ち、奈良に嫁ぎ、近くにあった古墳が、私を考古学へと導いてくれました。出会いを大切にしたいと思います。



駒井 宏充

人生の最終盤を迎え、何か世の中に恩返しがしたいなと思っていた処でこの資格に出会いました。研修の講師をしていました。奈良の魅力を多くの人に伝えられたらと思います。



森川 祐美

橿原市今井町出身の森川祐美です。歴史好きで神社仏閣、仏さま、古墳、奈良の風景をとっても愛しています。皆様と出会い、世界が広がることを楽しみにしています。



小屋 千鶴子

天理在住の小屋千鶴子です。奈良市の観光案内所でボランティアをするうちに奈良を極めたいとソムリエを目指すことに。最古の国際都市・奈良の魅力を発信して行きたいです。

荒井 裕

奈良検定を受けてから奈良を見る目、歩き方が変わりました。奈良の歴史や伝統文化をもっと深く学びたいです。



弘瀬 典子

(一社)斑鳩町観光協会勤務。イベント企画・観光案内・ホームページ作成などを担当。ソムリエの会と職場で得る経験を、互いの場で上手く活かしていければ…と考えている。



箕輪 智子

歴史が苦手な奈良に無関心だったのに、千三百年の時間の延長に自分も立っていると平城宮跡で感動したのが始まり。行けばあちこち面白く、これからは奈良の魅力に接したい。



大平 芳枝

奈良に魅かれて東京から移住しました。自然の中を歩くのが好き、飛鳥が好き、室生寺の金堂の釈迦如来立像が好き、古墳は好きだけど覚えるのが苦手です。宜しくお願いします。



森本 和代

橿原市在住で観光ボランティアガイドをしています。ソムリエの会の一員となり何が出来るかまだ分かりませんがわが故郷と奈良県の魅力を発信する一助になればと思っています。



長澤 智美

出身は大和郡山市で、現在は大阪在住です。奈良のことをもっと深く知り、自ら楽しむと共にその魅力を多くの人に伝えていけるような活動ができればと思います。

森本 泰広

大和高田市在住の森本泰広です。一人でも多くの方に奈良の魅力をお伝えする手助けができればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



鈴木 健二

現在、京都のホテルで働いています。7年前の奈良勤務の折、奈良に魅了された一人です。本会で広く奈良を紹介する事が出来るようになるのを楽しみにしています。



池田 典子

寺社仏閣を訪れること、鹿と鳥が好きです。奈良の歴史を、より深く勉強したいなと思っています。多くの人に奈良を好きになってもらえるよう、活動したいです。



本田 栄子

信綱の『ゆく秋の』の奈良が好き。『奈良』発声してみると絶対『なら』じゃない『NARA』よ。生意気な事を書いていた中学時代。この熱い思いが今の私の原点かもしれません。

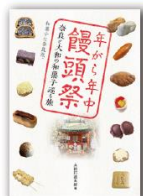


ホテル リガーレ春日野
(5/21)

寄付金のお願いをいたしましたところ、会員の皆様からたくさんのご寄付をいただきました。誠にありがとうございました。引き続きご支援、よろしくお願い申し上げます。

令和4年度寄付金受入（敬称略、50音順） 浅井博明、大江弘幸、小野哲朗、川村剛、鈴木浩、鉄田憲男、徳南毅一、豊田敏雄、東田好史、平越真澄、福井洋、松浦文子、松森重博、毛利明、森田康義 以上15名、匿名ご希望の方1名 合計16名 247,500円

2023.6.24～7.28 東京奈良まほろば館にて京阪奈情報教育出版の書籍展示販売決定!! お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください!!

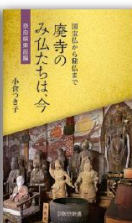
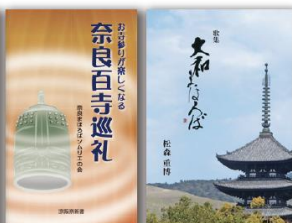


『年がら年中饅頭祭—奈良と大和の和菓子巡り旅』太鼓打源五郎著
奈良は饅頭発祥の地。大和の町や村に分け入って菓子の歴史を探り、かつ実食した著者の渾身の一冊。
老舗から新興まで奈良県下60店舗に及ぶ紹介、和菓子の歴史、奈良の年中行事にまつわる和菓子、おすすめ奈良土産など。
これ1冊で大和の和菓子がわかる和菓子百科!! 和菓子を知ると、そこに込められた日本人の心を知ることになるのだ。



『元興寺とならまちの建築・美術—語られなかった謎に迫る』清水和彦著

奈良市の旧市街「奈良町」の中心部、古い町並みが残る一帯は、今では「ならまち」とひらがなで書かれ、世界遺産の元興寺はそのシンボルです。奈良時代以降1300年もの間、火災にも遭わず文化遺産を今に伝えているのは奇跡です。しかし、幕末に町家の火災が飛火して奈良時代創建の五重塔（大塔）が焼失してしまいました。本書では、大塔の復原をめぐる戦前の忘れられた論争を手掛かりにして、これまで語られなかった元興寺をめぐる謎に迫りました。



奈良の魅力が奈良人が奈良から発信!! 京阪奈新書、あをによし文庫、奈良ガイド、自費出版 **京阪奈情報教育出版** [検索](#)

京阪奈情報教育出版では、「発見!! あなたの知らない『奈良の一冊』を・・・」と題し、6月24日から7月28日までの間、東京奈良まほろば館にてこれまで発行してきた書籍のフェア（展示販売）を開催。期間中、当会『奈良「地理・地名・地図」の謎』刊行記念して6月24日は池内力さん、6月25日は鉄田憲男さんが講演を行います。24日夕方からは、奈良県御所の銘酒「風の森」をテイastingしながら、蔵元油長酒造の山本社長の日本酒についての講演があります。

編集後記

夏越しも過ぎて令和5年も折り返しになりました。皆様お元気にお過ごしのことと思います。さてソムリエの風も40号を迎えました。今年は奈良まほろば検定ソムリエ級は83名とたくさん合格されまたソムリエの会にもたくさんの人を迎えました。新入会員の80文字の自己紹介も44名の方の投稿があり40号は12ページになりました。紙ベースでの発行は今回で終了し、41号からはホームページに掲載となります。パソコンあるいはスマートフォンからご覧ください。ホームページもこの春から装いが新たに変わりました。新しい情報がつぎつぎアップされております、どうぞご覧ください。ホームページは、<https://www.stomo.jp/> 投稿は、kouhouweb@stomo.jp へどうぞよろしくお願いいたします。

(広報G) 磯兼・今西・風間・柏尾・窪田・小林(誠)・島田・中村・廣岡・二上・福岡・藤田・増田・松原・松森・吉川

特定非営利活動法人 奈良まほろばソムリエの会

事務所所在地：〒630-8217 奈良市橋本町3-1 きらっ都・奈良 (BONCHI)

ホームページ：<https://stomo.jp/>

メールアドレス：info@stomo.jp

つれづれ日記(ブログ)：<https://stomo.jp/blog/>



HPのQRコード